

学生からのメッセージ

夢を目指せるということ

益永 裕香

(福岡医療短期大学 3年次生)



私は高校生の時、保育士になるという夢を持って保育のこ
とだけを勉強していました。し
かし自分の欠点や職業に対す
る向き不向きを意識するなか
で少しずつ自信を失っていき、
将来について迷うようになり
ました。そんな時、私を支えてくれたのは母でした。私は
母子家庭で育ち、幼い頃から仕事と子育てを両立する母
に憧れを抱いていました。そんな母は「強い女性になりな
さい」が口癖で、私が進路について迷っている時も「あなたが進
みたい道があるならいくらでも応援するから、自分のした
いようにしなさい」と言ってくれました。そんな母の応援が
あったからこそ、歯科衛生士という職業に興味を持ったと
き、何も知らない環境でも勇氣を持って一から勉強するこ
とができました。もちろんその道のりは簡単なものではな
く、何度も挫けて諦めそうになりました。でも応援してく
れる母の期待に応えるためにも頑張ろうという気持ち
がいつも私を支えてくれました。

夢を見ることは誰にでもできると私は思います。あんな
人になりたいとか理想を掲げるのも簡単です。でも、そ
れを追うことができるかは追える環境にいるのかが大切
だと思います。その中で私は、応援してくれる母や家族一
緒に学び夢を追いかける友達、違う夢を目指すことになっ
ても励ましてくれる友達がいてくれたからこそ、今の自分
があると思います。学校生活も残り少なくなってきました
が、今は自信を持って歯科衛生士という夢を追うことがで
きています。母のような女性になるためにも国家試験に向
けて頑張っていきます。

保護者からのメッセージ

輝く未来を自分の手で
つかむために

川上 昌也

(福岡歯科大学 学生後援会理事 評議員)



残暑厳しき折、一日も
早い新型コロナウイルス
感染症の終息と、皆様
方のご健康とご多幸を
お祈り申し上げます。

先の見通しがつき辛
い厳しき状況が続きますが、皆様方は脚本家の
故花登筐さんの「泣くは人生、笑うは修行、勝つ
は根性」という言葉をご存知ですか？人生には
どちらかという辛いことが多い。泣きたくな
るようなこともいっぱいある。その辛さに耐え
て輝くためには、普段の苦しい修行を「笑って」前
向きに取り組むことが大切である。そして最後
に勝つためには、「負けてたまるか」とあきらめず
にひたむきに取り組む姿勢が必要である。この
ような意味です。

学生の皆様方、輝く未来を自分の手でつかむ
ため、今の苦しい時期を前向きに精一杯取り組ん
でください。

何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日
も早く解消され、平穏な日々に戻りますよう願
います。

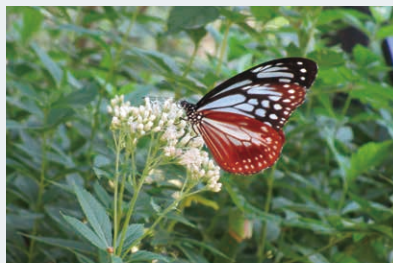
New
Sophia
コラム

藤袴

秋の七草の1つのフジバカマ(藤袴、*Eupatorium japonicum*)はキク科ヒヨドリバナ属の多年生植物。10月頃から茎の先端に薄いピンク色の多数の小さな花弁を付ける。顔を近づけるとわずかな良い香りがするが、葉や茎を乾燥すると桜餅のような匂いがする。うで、平安時代の女性は洗髪に使ったとか。それほど珍しい植物ではなく、福岡市内でも自生しているのを見かける。

フジバカマはアサギマダラ(浅葱斑、*Parantica sita*)という大型のチョウが吸蜜に來ることでも知られる。アサギマダラは翅のターコイズ・ブルー(浅葱色)の模様が鮮やかで、フアンが多い。季節的に長距離を移動し、翅にマーキングをした個体が1000 km以上離れたところで見つかることもある。

藤袴に集う浅葱斑を見かけたら、南の島に行く途中に翅を休めに來たのかも知れない。コロナ禍に影響を受けない彼らの生活を羨ましく思うのと同時に、小さな小さな身体に強靱な生命力が備わっているのに驚くばかり。(内藤 徹)



編集後記

夏の暑さから開放され、いよいよ秋が深まってきました。第112号では学園の様々な情報とともに、学生企画の第2弾として看護大学の学生による新型コロナワクチンについてのインタビュー記事を掲載しています。灯火親しむべし。ゆっくりとお楽しみいただければ幸いです。